

分野	授業科目	単位 (時間)	進度	担当	
専門基礎分野	疾病論Ⅲ	1 (30)	1年後期	井建一朗・武本重毅・渡辺充伸・前田純治・飯干 明 実務経験あり	
科目目的	脳神経系、運動器系、自己免疫系に疾患をもつ患者の身体的アセスメントができる基礎的知識を習得し、看護に活かす。				
科目目標	1. 脳神経系、運動器系、自己免疫系疾患の基礎知識（構造と機能、症状と病態生理）と主な疾病の病態、検査、治療、予後を理解する。 2. 習得した脳神経系、運動器系、自己免疫系疾患の知識や技術を看護の展開に活かす。				
単元名	教育内容	時間	教育方法	担当	
1. 脳神経系疾患	1) 解剖と生理：中枢神経系、末梢神経系 2) 症状と病態：意識障害、高次脳機能障害 3) 検査と治療：神経学的検査、脳脊髄液検査 4) 脳神経系疾患 ・脳血管障害：脳出血、脳梗塞、くも膜下出血 ・脳腫瘍：分類、手術に伴う合併症と予後 ・変性疾患：パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症 ・炎症性疾患：髄膜炎、脳炎 ・認知症、頭部外傷、てんかん、頭痛、その他	10	講義	井	
2. 運動器系疾患	(1) 運動器の構造と機能 骨・関節・神経・筋肉・靭帯の構造と機能について	2	講義	渡辺	
	(2) 症状とその病態生理 疼痛・形態異常・関節の異常・神経の障害	2			
	(3) 診断・検査と治療・処置 ・診察・検査（X線、MRI等）・治療、処置	4			前田・渡辺
	(4) 疾患の理解 ・外傷性の運動器疾患（骨折、脱臼等） ・非外傷性の運動器疾患 （先天性疾患、炎症性疾患等）	6			飯干・前田
3. 自己免疫疾患	1) 自己免疫疾患の病態 免疫反応による組織障害のしくみ 2) 膠原病と類縁疾患 ・慢性関節リウマチ、全身性エリテマトーデス ・全身性硬化症、多発筋炎、混合性結合組織病 ・シェーグレン症候群 ・ベーチェット病	6		武本	
試験		1			
テキスト／その他の教材	系統看護学講座「脳・神経」「運動器」「アレルギー・膠原病・感染症」（医学書院）				
評価方法	筆記試験（井 35点・渡辺他 45点・武本 20点）で評価する。				